

令和元年度（2019年度）北海道・ハワイ州高校生交換留学促進事業

—アンケート結果から見える事業効果—

■ 参加生徒へのアンケート（5名中）

参加生徒全員が、「英語力の向上」、「国際社会への関心の高まり」を実感し、「将来また留学したい」と回答。



● 感想 ●

- ・スクールバスでの通学、美しい街並み、行動力や優しさにあふれた人々、大半の生徒がアクティブに授業に参加する姿などが魅力だと思った。
- ・「日本語クラス」で「母国語」を習うという貴重な経験をした。日本語と英語の作りの違いを考えたり、日本語を学ぶ上で何が難しいかを現地の高校生に直接聞いたりしたことで、帰国後の英語の勉強が少しわかりやすくなった。
- ・英語を話すときに日本語に変換してから訳さなくなり、英語が自然と出てくるようになった。単語がわからなくても、違う表現で伝えるように試行錯誤するようになった。
- ・英語を実際に生活で使用することで、普段授業を受けているだけではあまり思わなかった「英語をもっと学びたい」という気持ちが強くなった。進路に関する視野が広がるとてもよい経験になり、日本では学ぶことが出来ない内容を学ぶことができ、とても楽しかった。

■ 引率教員の感想

- ・生徒の人生に、大きな影響を与える絶好の機会となったと思う。
- ・生徒の日々の成長を感じられ、また自身の国際交流意識も高まった。

■ 受入校担当教員の感想

- ・本校生徒も授業を通して留学生と密に交流を図ることができたことに加えて、学校行事では目標に向けていっしょに取り組み、非常に有意義な時間を共有することができた。
- ・英語力はもとより、日本文化の紹介やハワイの紹介など異文化交流を通して国際的な視野をさらに広げることができた。

■ 受入家庭の感想

- ・この機会がなければ体験できなかったことであり、外国の子の生活などもわかり、楽しい日々を過ごすことができた。
- ・子どもと留学生が何の問題もなく仲良くなれたようで、親としても見ているのが微笑ましく、娘が一人増えたと感じ、戸惑うことなく1週間を過ごすことができた。